

(別添 2)

No.	
策定年月	令和3年4月
見直し年月	令和4年4月

麦・大豆産地生産性向上計画 長浜市産地 (作成主体:長浜市)

1. 麦・大豆の生産性向上・生産強化に向けた方針

長浜市は、全耕地面積に対して主食米の作付割合が約7割を占める水田地域である。

近年、主食用米の国内需要が減少する中で、将来を見据え、加工用米等の生産拡大、園芸品目の導入等と併せて、麦・大豆の生産を拡大する必要がある。

麦・大豆の生産拡大にあたっては、担い手への集積が急速に進む状況を踏まえ、効率的作業を可能とする生産性の高い麦・大豆産地づくりを推進していく。

また、実需と密接に連携し需要が拡大基調である品種へ生産を移行していくとともに、耐病性品種等への切り替えを実需の理解を得ながら早急に進め、単収の安定を実現する。

現在、長浜市においては、長浜市水田収益力強化ビジョン、転換作物拡大計画により水田収益力強化の推進に取り組んでいるが、本計画において、麦・大豆生産性向上・生産拡大に係る取組をより具体化するとともに関係者の連携を強化し、農業の更なる活性化を図っていく。

2. 麦・大豆生産の現状と課題

(1) 需要に応じた生産の現状と課題

・大麦については、本地域で生産している品種ファイバースノウは、全量が麦茶用として、県外の企業に販売されているが、実需の要望を超える生産量であり、生産量を調整する必要がある。

・小麦については、本地域で生産している品種農林61号は、県内外の製粉業者に販売されているが、大麦と同様、実需の要望以上の生産量となっている。

・大豆については、生産の8割以上を占める品種オオツルは、関西を中心に全国の加工食品企業に向けて販売されているが、近年、作柄の不安定さにより収穫量が減少している。より収穫量が高く、県全体の方針と連携を図りつつ加工適性の高い品種へ切替える必要。

(2) 生産における現状と課題

近年、作付面積は麦については微増、大豆については減少傾向で推移している。大豆の単収は平成29年産は150kg/10aだったが、令和元年産は120kg/10aとなり、低下傾向となっている。一方、麦の単収は微増傾向にあるものの、地域によっては今なお排水対策等が不十分で、単収低下となっているほ場も見られ、大豆と同様、単収をより向上させる必要がある。

単収低下の原因として、作付頻度の増加による地力低下等が考えられ、収量を向上させるためには、土壌診断に基づいた地力の回復、施肥や土壌改良資材の施用等の実施が課題となっている。また、排水不良も単収低下の大きな要因となっており、改善が必要となっている。さらに、近年は、担い手への農地の集約が急速に進み、1農家あたりの作業面積が拡大することにより、適期作業の逸失等が起こり、単収低下を引き起こしており、スマート農業の導入や作付の団地化等の推進が必要だが、団地化率は下がっており、改善が課題となっている。

(3) 実績

① 生産量

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)
小麦	農林61号	(825) 827	(378) 379	(109) 109	(220) 220	(220) 220	(220) 220	(1,815) 1,819	(832) 833	(239) 239
大麦	ファイバースノウ	(237) 237	(633) 635	(966) 969	(400) 400	(400) 400	(400) 400	(950) 950	(2,532) 2,539	(3,866) 3,874
作物計		(1,062) 1,064	(1,011) 1,014	(1,075) 1,077	(260) 260	(333) 333	(382) 382	(2,764) 2,769	(3,364) 3,373	(4,104) 4,113

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)	平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)	平成29年産	平成30年産	令和元年産(現状)
大豆	オオツル	(887) 888	(822) 823	(773) 774	(150) 150	(130) 130	(120) 120	(1,331) 1,332	(1,068) 1,070	(927) 929
作物計		(887) 888	(822) 823	(773) 774	(150) 150	(130) 130	(120) 120	(1,331) 1,332	(1,068) 1,070	(927) 929

※ 田畑計の数値を記載している場合は、括弧内に田の面積を記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 計画策定時に数値が把握できる直近3年の実績を記載する。麦と大豆で年産が異なっても良い。

※ 年産は必要に応じて適宜書き換えて使用すること。

※ 麦は必ず品種毎に整理すること。（大豆は品種ごとの記載が困難な場合は、一括の記載が可能）

② 団地化

作物名	品種名	平成30年産		令和元年産		令和2年産(現状)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
小麦	農林61号	764	92.6%	335	88.4%	94	86.6%	
大麦	ファイバースノウ	201	84.6%	585	92.4%	873	90.3%	
作物計		965	90.8%	919	90.9%	967	90.0%	

作物名	品種名	平成29年産		平成30年産		令和元年産(現状)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
大豆	オオツル	822	92.6%	775	94.3%	711	92.0%	
作物計		822	92.6%	775	94.3%	711	92.0%	

※ 原則田の数値を記載するが、畑を含んでいる場合は、田の数値を括弧書きで記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 団地化率は、団地化面積が当該品目の作付面積に占める割合を指す。現状数値以外は把握できる範囲の記載で良い。

※ 品種毎の記載が困難な場合は、麦全体及び大豆全体の数値のみの記載で良い。

③ 団地化率の計算に用いる団地の基準・考え方

滋賀県の産地交付金の県設定メニュー等において、「団地」は概ね1ha以上の、同一作物が作付されているか、もしくは概ね2ha以上の団地が形成されている内同一作物について概ね1ha以上作付けされていることとされ、長浜市としても1haを基準として団地化を進めてきたことから、1haを団地の基準とする。
ただし、湖北町山本地域は、先進的に団地化が進められていることから、4haを団地の基準としてより高度な団地化を進める。

※ 都道府県の団地基準面積値を使用している場合は、その旨記載すること。

※ 都道府県の団地基準面積値と異なる場合は、必ず記載すること。

3. 課題解決に向けた取組方針・計画

(1) 取組方針

① 需要に応じた生産と販売の実現

ミスマッチが起こっている小麦の農林61号については、より収益性の高い品種びわほなみへ転換を進め、ミスマッチの解消を進めるとともに、収益力向上を目指す。

大麦については、県外の実需と連携し、市内に加工用工場を誘致し、麦茶用のファイバースノウについて、ミスマッチを解消し、さらなる増産を図る。

大豆については、煮豆用としているオオツルで、実需者が求める品質や、数量を確保することが難しいことから、需要量が増えてきている豆腐・豆乳向けの品種へ、3年後の切り替えを目指す。

② 団地化の推進

長浜市集落営農支援事業補助金を活用し、麦・大豆の団地化に向けた話し合いを集落単位で実施し、土壌・排水条件・作業の効率化等に配慮した団地化に向けた計画に基づき、ブロックローテーションを実施する。

③ 土づくり

土壌に起因する低収要因の改善に向けて、麦・大豆を作付けする土壌診断と、その結果に基づく施肥等の土づくりに向けた取組を実施する。

④ 生産性向上

麦・大豆については新品種導入(小麦…「びわほなみ」、大豆「里のほほえみ」)により、単収の増加を図ることとし、具体的には10aあたりの収量を小麦については現状より80kg程度、大豆については現状より30kg程度増加させ、県内平均並の水準に引き上げることとする。

また作期分散による適期収穫のため、里のほほえみに比べて一週間程度生育が遅れる「ことゆたかA1号」での生産を大規模農家を中心に部分的に取り組む。

※ ①需要に応じた生産と販売の実現、②団地化の推進については必ず記載する。③以降は産地の実態に即して記載する。

(2)計画

① 生産量

作物名	品種名	令和2年産(現状)				令和9年産(目標)				備考				
		面積(ha)		単収(kg/10a)		生産量(t)		面積(ha)			単収(kg/10a)		生産量(t)	
小麦	農林61号	(109)	109	(220)	220	(239)	239	(0)	0	(0)	0	(0)	0	
	びわほなみ	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(110)	110	(300)	300	(330)	330	
大麦	ファイバースノウ	(966)	969	(400)	400	(3,866)	3,874	(1,100)	1100	(400)	400	(4,400)	4,400	
作物計		(1,075)	1,077	(382)	382	(4,104)	4,113	(1,210)	1210	(391)	391	(4,730)	4,730	

作物名	品種名	令和元年産(現状)				令和8年産(目標)				備考				
		面積(ha)		単収(kg/10a)		生産量(t)		面積(ha)			単収(kg/10a)		生産量(t)	
大豆	オオツル	(773)	774	(120)	120	(927)	929	(200)	200	(120)	120	(240)	240	
	里のほほえみ		0		0		0	(500)	500	(200)	200	(1,000)	1,000	
	ことゆたかA1号		0		0		0	(100)	100	(150)	150	(150)	150	
作物計		(773)	774	(120)	120	(927)	929	(800)	800	(174)	174	(1,390)	1,390	

※ 田畑計の数値を記載している場合は、括弧内に田の面積を記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。

※ 麦は必ず品種毎に整理すること。(大豆は品種ごとの記載が困難な場合は、一括の記載が可能)

※ 現状値は、計画策定時に数値が把握できる直近の年産を記載する。麦と大豆で年産が異なっても問題ない。

※ 目標年は計画策定年から5年後に生産(麦においては播種)する年産とする。麦と大豆で年産が異なっても問題ない。

※ 災害等により、現状値として直近年を用いることが適当でない場合は、現状値を7中5とすることが出来る。その場合備考欄に明記すること。

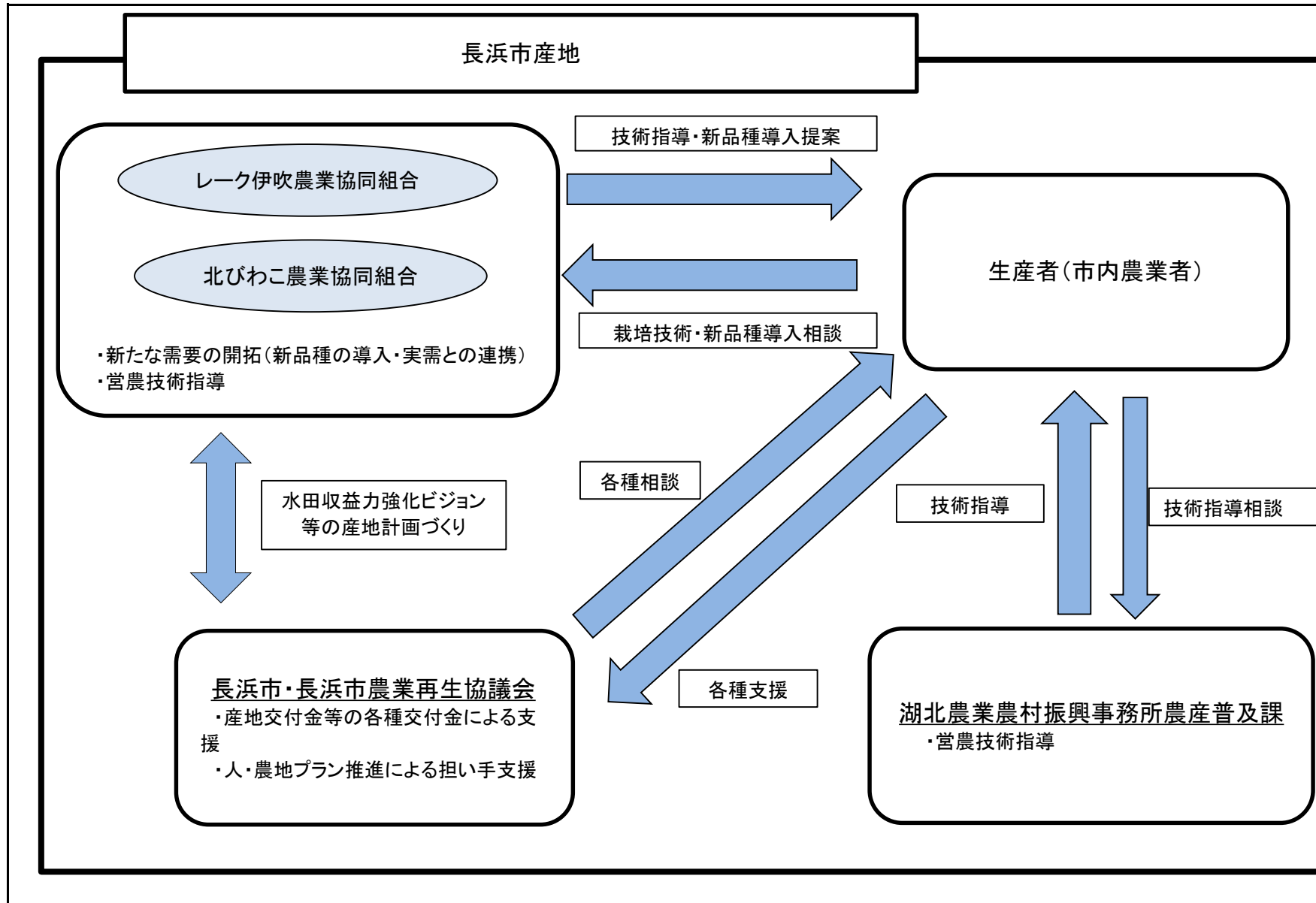
② 団地化

作物名	品種名	令和2年産(現状)		令和9年産(目標)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
小麦	農林61号	94	86.6%	0	0.0%	
	びわほなみ			100	90.9%	
大麦	ファイバースノウ	873	90.3%	1,000	90.9%	
作物計		967	90.0%	1,100	90.9%	

作物名	品種名	令和元年産(現状)		令和8年産(目標)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
大豆	オオツル	711	92.0%	190	95.0%	
	里のほほえみ	0	0.0%	460	92.0%	
	ことゆたかA1号	0	0.0%	90	90.0%	
作物計		711	92.0%	740	92.5%	

- ※ 原則田の数値を記載するが、畑を含んでいる場合は、田の数値を括弧書きで記載すること。
- ※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。
- ※ 現状値については、原則、大豆は令和元年または2年産、麦は令和2年産または3年産の数値を記載すること。
- ※ 目標年は計画策定年から5年後に生産(麦においては播種)する年産とする。麦と大豆で年産が異なっても問題ない。
- ※ 麦は必ず品種毎に整理すること。(大豆は品種ごとの記載が困難な場合は、一括の記載が可能)
- ※ 団地化率は、団地化面積が当該品目(作物)の作付面積に占める割合を指す。
- ※ 品種毎の記載が困難な場合は、麦全体及び大豆全体の数値のみの記載で良い。

4. 推進体制及び役割



5. 他計画・プラン等との連携

	連携する計画・プラン等名称	令和3年4月	備考
1	長浜市水田収益力強化ビジョン	毎年度	長浜市農業再生協議会策定
2	人・農地プラン	—	長浜市作成
3	第7次地域農業振興計画	令和2年度	北びわこ・レーク伊吹各農業協同組合
具体的連携内容 JAが作成する地域農業振興計画と整合を図るよう両JAと協議のうえ、長浜市農業再生協議会が毎年作成する長浜市水田収益力強化ビジョンにおいて、当産地生産性向上計画で示したような作物転換計画等を反映させ、必要に応じて産地交付金のメニュー等を活用しながらスムーズな転換を進める。特に、団地化の推進にあたっては、産地で作成する人・農地プランとの連携を図り、集積された農地が、効果的に活用されるよう団地化を推進する。			

6. 活用予定の事業

関連	事業名	備考
○	水田麦・大豆産地生産性向上事業	当該事業により事業実施区域内における麦・大豆の団地化の推進や作付面積の拡大を図る。
	長浜市集落営農支援事業	集落単位での集団転作機能を維持し、団地化率の向上を図る。

※別紙第6の事業に該当する場合は、「○」を記載すること。その他の事業を活用する場合は「-」。

※備考欄には、活用する時期や具体的な取組内容を記載すること。